

# 令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 堀江保育園

## テーマ「光」



ごく当たり前にある「光」。そんな光も、子ども達にとっては不思議で面白いものだという事を生活の中でつぶやかれる子ども達の声から感じました。光への興味や関心から遊びを通してさらに不思議に思ったり、発見することの面白さを感じ発展的で創造的な遊びが子ども達の手でつくられていくのではないかと考えました。

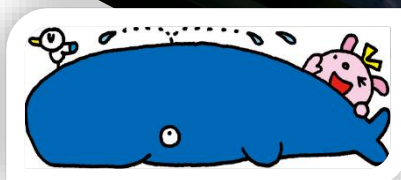


1歳児の保育室。テラスの窓に子どもの目線の高さで赤いシートを貼って見たところ、ジーーと眺めているIちゃん。

「…!!」吸い寄せられるようにやってきたK君もその先に見える赤い世界にくぎ付けです。



ある初夏の日。何やら4歳児室の前に水を張った大きなアクリル水槽が出現。そして水の中にはプラカップやアクリル積み木が…。「うわ～！なんだこれ～!？」と、押し寄せる子ども達。「地面に色がついてる」と積み木の色が光と水を通してテラスの床に映っている事を子ども達が発見！ここからは、水中の積み木とカップを使って子ども博士たちが実験開始です♪



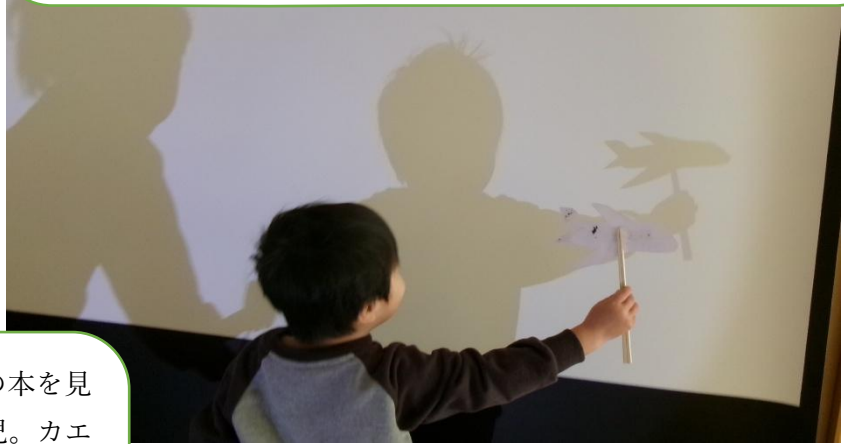


「どんな形にしようかな～」

保育士が幼児交流の中でやった影絵。興味をもった子ども達が、自分でも作れることを知り、早速作成中。大きいクラスの子ども達が手助けしながら完成！

「見て～。ぼくの飛行機が飛んでるよ♪」

大きなスクリーンに映し出される姿に大興奮。



大きなスクリーンで影絵遊び。影絵の本を見ながら、色々な形を作って遊ぶ5歳児。カエルや犬、アヒル…沢山の形をマスターし、子ども達同士で「影絵クイズ」が盛り上がりました！友達同士で形の作り方を教え合ったり、クイズにする等、さすが5歳児です。



子ども達の遊びの中で環境の一部として置かれた懐中電灯やランタン。当初は子ども達の道具の扱い方にこちらもハラハラドキドキ。それでも危険な使い方でない限りは、保育士たちも様子を見守ってきました。経験を積み重ねる事で子ども達がそれぞれの楽しみ方を見出し、遊びの中で発見を重ね楽しむ姿が増えてきました。そして光についてどのように興味を持ち、どのような楽しみ方をしているのかをよく観察する事を心掛けながら環境を整え、設定を進めてきました。今年度は、3～5歳児が計画的に幼児交流を進めてきた中で、大きなスクリーンを設定し全身を使って光を感じながら遊んだり、保育士が影絵シアターを演じるなど光と影への興味、関心にアプローチしてきました。その中で、楽しいだけでなく保育士がそこで生まれた子ども達の「？」や「！」の気持ちを捉え、次へと繋がる関わりや環境作りが大切であると改めて感じました。そして、光に触れた遊びを通して生まれた新たな物事への興味、関心を大切に、今後も一人ひとりがじっくりと遊び込み、充実感溢れる保育を子ども達と作っていきたいと思います。